

社会福祉法人 立正たちばな会

認定こども園 川西保育園

施設関係者評価・自己評価

記録者氏名 認定こども園 川西保育園

〔記入方法〕
A、B、C、Dの4段階評価です。該当する欄に○を付けてください。
項目ごとに、意見・改善策を記述してください。

- A たいへんよい
- B よい
- C 一部検討を要する
- D 改善を要する

		2024年度(令和6年度) 自己評価				施設関係者評価				
項目	内 容	評 価				評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	A	B	C	D	
保育目標・保育方針	①園の保育目標や保育方針は、分かりやすい。		○			○				・保育目標が子ども達の中で生きているものと、そうでないものがある。保育教諭が日頃から保育目標を意識して保育を必要がある。
	②園の保育目標が、子ども達の中で生きている。		○				○			
	③園の保育目標や方針について、園長や他の保育教諭と話をする機会がある。		○				○			
	④保育方針は、その時々幼児に合ったものになるように定期的に見直されている。		○				○			
	⑤園の保育目標は、園の創立の理念を生かしている。	○				○				
保育計画	①園の保育計画は、教育目標を生かして作られている。		○				○			・その時々子ども達の姿に合わせて保育計画を考えることができています。
	②子ども達の年齢ごとの保育計画がある。	○				○				
	③園の保育計画は、園長と保育教諭が話し合いながら作られている。		○				○			
	④園の保育計画は、必要に応じて見直されている。	○				○				
	⑤園児のしたいことや、興味のあることを取り入れられるようになっている。		○			○				
保育環境	①保育環境を常に清潔に保ち、美観を大切に心地よい環境で保育が出来るように努めている。		○				○			・小さな子どもが遊びに来るので危険がないようにこまめに掃除をしたり、環境を整えている。温かい雰囲気迎え、親子で楽しめるようにしている。 ・壊れているものや、子どもの怪我に繋がりそうな遊具や玩具の点検を定期的に行い、新しいものと取り換えたり修理をして使用する。 ・園外での活動時、その季節によって野環境構成をしっかりと行う。
	②室内の温度・湿度・換気・照度等は園児の活動に合わせて配慮している。		○				○			
	③安心できる人的・物的環境をつくり、「感覚」の働きを豊かにするように配慮している。		○				○			
	④屋外での活動の場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている。		○				○			
	⑤年齢の異なる園児が、触れ合うような環境構成をしている。	○				○				

項目	内 容	評 価				評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	A	B	C	D	
保育内容・方法	①全ての園児について、一人ひとりの最善の利益とその人権を尊重している。	○				○				・子ども達にとって分かりやすく伝わりやすい言葉遣いや話し方を心掛けている。 ・穏やかな声掛けが出来るか振り返りをしている。生活の中で子ども達の順番を譲ったり、守ったりする場面がある。今後も伝えていきたい。
	②園児にわかりやすい温かな言葉遣いで、穏やかに話をしている。		○				○			
	③基本的生活習慣は園児の発達を考慮し、家庭と連携して状況に応じて対応している。	○				○				
	④身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性を育み考慮をしている。		○				○			
	⑤園児同士の関わりで、順番を守るなどの社会的ルールを身に付ける配慮をしている。	○				○				
食育	①いろいろな味に親しみ、喜んで食事が出来るようにした。	○				○				・毎日給食の挨拶前に給食のメニューを発表している。「これは何？」と食材に興味を持つ姿もあるので、食に感謝をしながら食育を進めていきたい。 ・時間を見て、クラスに行って子ども達に声を掛けている。
	②食材に興味を持ち、名前を覚えるような声掛けができた。		○				○			
	③食事のマナーを知り、守って楽しく食事ができる環境ができていた。		○				○			
	④栄養素について興味・関心をもち、苦手な食べ物も食べられるように工夫が出来た。		○				○			
保育教諭の役割・質向上	①ひとり一人の園児をよく観察するように心がけている。		○				○			・チャットワークを使った研修報告などは一目で分かりやすい。 ・子ども達それぞれの理解を深められるよう、これからも一人ひとりしっかりと観察することを心掛けたい。 ・職員個々に違っているような場面も見受けられる。どの先生からも素晴らしい保育が受けられるようにしたい。
	②全ての園児に、平等に接するように心がけている。	○				○				
	③その場にふさわしい言葉遣いができる。		○				○			
	④研修に行った保育教諭の研修内容は、全員に紹介される。	○				○				
	⑤園児のモデルとなれるように気を付けている。		○				○			
	⑥保護者との信頼関係が出来ている。		○				○			
子育て支援	①園児の送迎時に、園児の様子を保護者に伝えている。		○				○			・1学期ごとに個人懇談をしているが参観ではない。琴の発表会や書道パフォーマンスでは一部の保護者には活動の様子を見て頂いている。 ・職員が集まるのがどうしても就業後になってしまいが、保育教諭間でより良い保育ができるにはどうしたらいいかと話している。 ・保護者の悩みに沿った支援ができるよう、ぽっけっとでもお家の方の心休まる居場所になれるよう配慮して活動している。
	②保護者の子育てについての相談にのっている。		○				○			
	③子育て支援の内容について、全員で話し合いをしている。		○				○			
	④子育て講演、情報提供を行っている。		○				○			
	⑤保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている。		○				○			
地域住民や関係機関との連携	①地域の人々と、親しく挨拶ができる。	○				○				・地域の行事には積極的に参加し、繋がりを大切にしている。 ・コロナウイルスの制限が緩和され、地域の方との交流が増えた。たくさん関わる機会が増えて嬉しい。
	②地域の方は、園のことに興味を持ったり、園の方針を理解している。		○				○			
	③地域の行事に参加し、地域の文化や生活に触れている。		○			○				
	④地域の人との交流を大切にしている。		○				○			

項目	内 容	評 価				評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	A	B	C	D	
運営管理	①園内で知り得た事柄について、守秘義務を徹底している。	○				○				・災害時のマニュアルや医療機関の連絡先がどこにあるのかわかりづらい。わかりやすくしておくべき。 ・事務局会議や職員会議などで状況を確認する機会があるので把握できる。
	②園長や主幹保育教諭・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への対応ができる体制がある。	○				○				
	③保護者の意見はしっかりと聞き、園長に報告している。	○				○				
	④園の施設の安全点検、衛生管理をしっかりと行っている。		○				○			
	⑤事故災害時のマニュアルがあり、職員がすぐに見ることができる場所にある。		○				○			
	⑥緊急時のために、医療機関等の連絡先が明示されている。	○				○				